

委員 井上隆司、岡村康司、久保義弘、樽野陽幸、鍋倉淳一、
日比野浩、松岡達、宮田麻理子、柚崎通介

報告事項 委員会報告の形式から逸脱した箇所もあるが、今期の国際交流活動について記す。

1. 第95回日本生理学会大会(高松)における国際交流関連シンポジウムの企画

FAOPS2019 (Kobe) 前の最後の大会であることを踏まえ、国際連携強化のため、第95回大会において、特例的に下記4件を、(大会ではなく)学会本体の予算を使用して実施する。いずれも、招待講演者一人につき15万円を上限として、旅費、滞在費の支援を行う。

(1) Japan-China (CAPS) Joint Symposium -Towards FAOPS2019-

“From Neuronal Circuits to Behavior”

Chairs: Dr Ayako Watabe (Jikei Univ) & Dr Minmin Luo (Tsinghua Univ)

Speakers: Dr Minmin Luo (Tsinghua Univ) **PSJ 招待**

Dr Ayako Watabe (Jikei Univ)

Dr Haruhiko Bito (Univ Tokyo)

Dr Toshihisa Ohtsuka (Yamanashi Univ)

(2) Japan-Korea (KPS) Joint Symposium -Towards FAOPS2019-

“Exquisite mechanisms for sensing and orchestrating mechanical signals”

Chairs: Dr Satomi Akahane (Toho Univ) & Dr Sun-Hee Woo (Chungnam National Univ)

Speakers: Dr Sun-Hee Woo (Chungnam National Univ) **PSJ 招待**

Dr Kimiko Yamamoto (Univ Tokyo)

Dr Gentaro Iribe (Okayama Univ)

Dr Hisao Yamamura (Nagoya City Univ)

(3) Japan-Taiwan (CPS) Joint Symposium -Towards FAOPS2019-

“Integrated Understanding of Gastrointestinal Physiology

--- Microbiome, Motility and Membrane Transport”

Chairs: Dr Hideki Sakai (Univ Toyama) & Dr Linda Chia-Hui Yu (National Taiwan Univ)

Speakers: Dr Linda Chia-Hui Yu (National Taiwan Univ) **PSJ 招待**

Dr Hideki Sakai (Univ Toyama)

Dr Shinji Fukuda (Keio Univ)

Dr Shinsuke Nakayama (Nagoya Univ)

(4) Japan-Australia (AuPS) Joint Symposium -Towards FAOPS2019-

“Recent advances in physiology/pathophysiology of Ca dynamics and signaling
in skeletal, cardiac and smooth muscles”

Chairs: Dr Ryuji Inoue (Fukuoka Univ) & Dr Bradley Launikonis (Univ Queensland)

Speakers: Dr Bradley Launikonis (Univ Queensland) **PSJ 招待**

Dr Nagomi Kurebayashi (Juntendo Univ)

Dr Hikaru Hashitani (Nagoya City Univ)

Dr Aya Yamamura (Aichi Medical Univ)

2. オーストラリア生理学会 (AuPS) 大会での AuPS-PSJ 合同シンポジウム

AuPS 会長 の Graham Lamb 先生より、AuPS 2017 大会 (2017 年 11 月 19-22 日、メルボルン) において、「Skeletal Muscle Physiology」分野全般」に関する AuPS-PSJ 合同シンポジウムを、PSJ から 2 人の講演者を招待して開催したいという連絡が届いた。日本生理学会員に対し公募を行い、国際交流委員会での審議の結果、応募者の中から下記 2 氏を推薦し、招待講演者に決定した。AuPS から、一人につき 1500 豪ドルの旅費支援が与えられる。両氏には、FAOPS2019 の宣伝活動を依頼する。

Dr Takashi Murayama (Juntendo Univ)

“Molecular mechanism of RyR1-related muscle diseases and its application toward diagnosis and therapy”

Dr Yuji Hara (Kyoto Univ)

“The role of phospholipid flippases in myotube formation”

3. イラン生理学・薬理学会大会での招待講演

イラン生理学・薬理学会 (ISPP) の Javad Mirnajafi-Zadeh 先生 (FAOPS 理事) から、23th Congress of ISPP (2018 年 2 月 15 日 - 18 日、Chabahar、イラン) の開催案内が届いた。FAOPS のバッジをつけて開催される。イランは FAOPS2023 の開催国であり、FAOPS2019 へのある程度の数の参加も見込まれる。そのため、2018 年 2 月の Congress において、講演および FAOPS2019 の宣伝を行うことには意義があると考え、講演者の受け入れの可能性について打診した。その結果、鍋倉淳一先生 (生理研、FAOPS2019 大会長) と加藤総夫先生 (慈恵医大、同副大会長) が講演者として招待されることが決定した。

4. IUPS 関連

IUPS の General Assembly 委員会から、各国の生理学会、生理学研究、生理学教育等の多岐の項目にわたる質問票が届いた。本来、日本の窓口である IUPS 分科会の対応事項ではあるものの、日本の生理学関係の大小多数の学会の情報を統合して答えるのはかなり難しい内容だったため、IUPS 分科会と相談の上、PSJ から回答することとして、PSJ 理事長・副理事長と協力して久保が回答をとりまとめ送付した。各国から寄せられた内容は "Physiology -Current Trends and Future Challenges" と題した文書に取りまとめられた。

<http://www.nips.ac.jp/biophys/Physiology--Current Trends and Future Challenges.pdf>

来年度事業計画

FAOPS2019 の直前の大会である高松大会にて、両大会長のご理解を得て、4 件もの国際連携シンポジウムを開催させていただけることを大変ありがたく思っている。企画は、学会間の国際連携のためのパイプ構築のため、すべて (講演者個人ではなく) 各国の生理学会と正式にコンタクトして進めた。FAOPS2019 (第 96 回 PSJ 大会) では、本委員会による企画は予定していない。第 97 回大会以降の国際連携シンポジウムについては、今後、種々の検討を行う。これまで FAOPS2019 の成功に向け、限られた企画枠や予算をアジアオセアニア各国との学術交流に集中してきたが、今後は、地域や視野を拡げて国際交流を進めて行くことも検討したい。

常任幹事会への提案 (議事として諮りたいこととお書き下さい)

無し